

終活における 支援のあり方検討会 第3回会議

令和6年10月15日
北九州市長寿社会対策課

本日の議事

1

終活支援の方向性

- (1) 終活とは
- (2) 終活支援の柱
- (3) 構成員からの主な意見
- (4) 終活をはじめとした権利擁護の推進体制

18:55~19:20
(25分)

2

北九州市らしい終活支援

19:20~20:00
(40分)

3

その他

20:00~20:15
(15分)

1 終活支援の方向性

終活支援の方向性

第1回資料
から再掲

(1) 終活とは

1 定義

かつては・・・

人生の終わりに向けての事前準備

人生100年時代を迎えた今・・・

これからの人生を自分らしく生き、自分らしい最期を
安心して迎えるための活動

2 課題

- ・単身高齢世帯や認知症高齢者の増加に伴い、終活を行う際、身近に頼る人がいなかったり、自分で判断することが困難になってきている
- ・死後のことや財産にかかることなど、多様なサービスを展開する事業者が増加

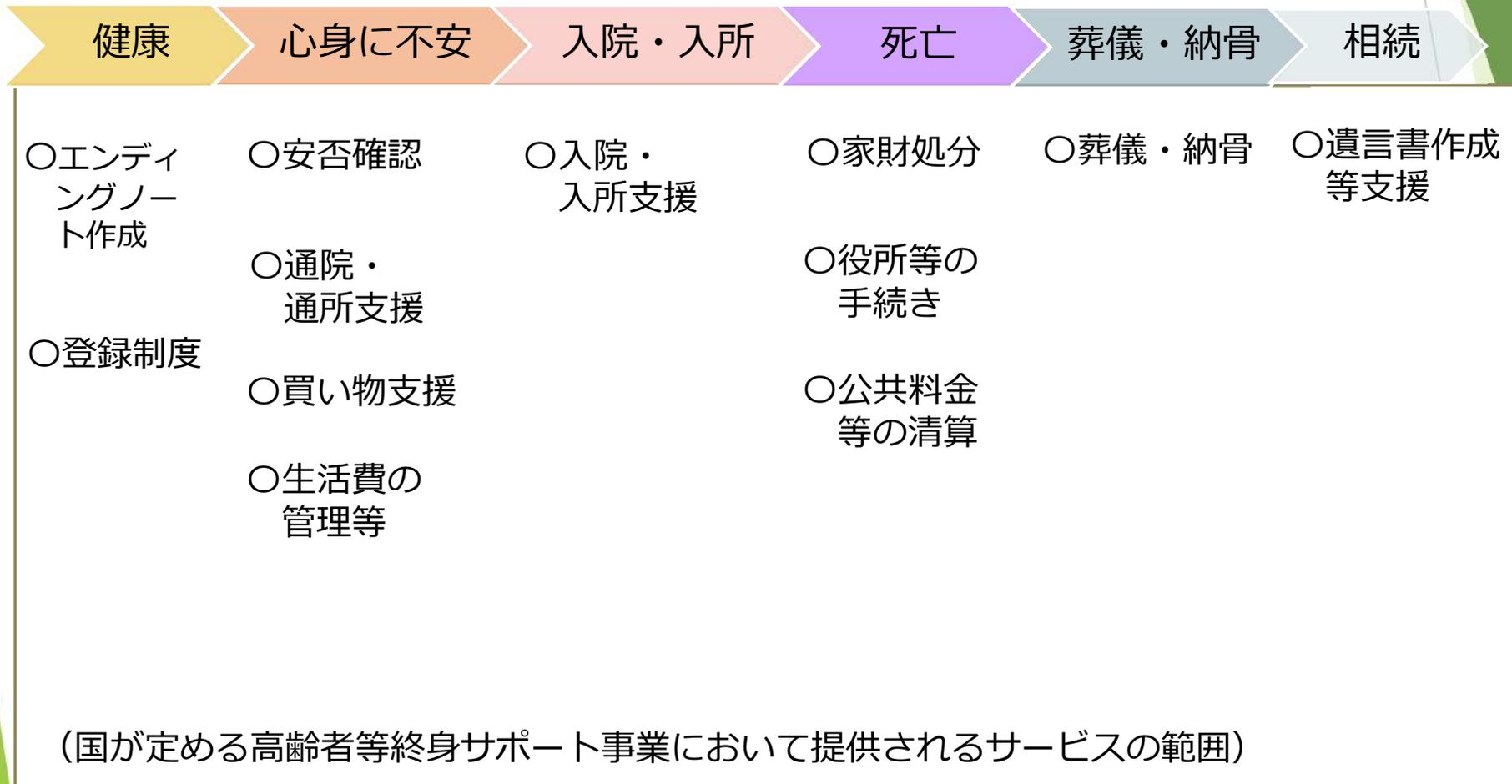
利用者が安心して適切なサービスを選ぶための仕組みづくりが必要

終活支援の方向性

第1回資料
から再掲

3 終活支援の範囲

(死後事務支援)



終活支援の方向性

(2) 終活支援の柱

1 終活の周知・啓発

○年齢にかかわらず、早い時期からの市民への周知・啓発

2 安心して相談できる窓口の設置

○相談から事業者紹介まで、包括的コーディネート機能を備えた終活相談窓口の常設化

できるだけ多くの方に取り組みを促す

終活支援の方向性

3 民間・行政の連携による支援

- 民間事業者や関係団体、社会福祉協議会、行政等によるネットワーク体の形成
- 相談窓口のバックアップや終活事業者の状況把握など、市民が安心して終活を進めることができるしくみの構築

4 身寄りのない方や資力のない方への支援

- 関係機関との連携による、終活から権利擁護・見守りまでの一体的支援の実施
- 身元保証を含めた支援体制の整備

5 その他（登録制度）

個々の悩みや不安を取り除き、それぞれが望む終活へ

終活支援の方向性

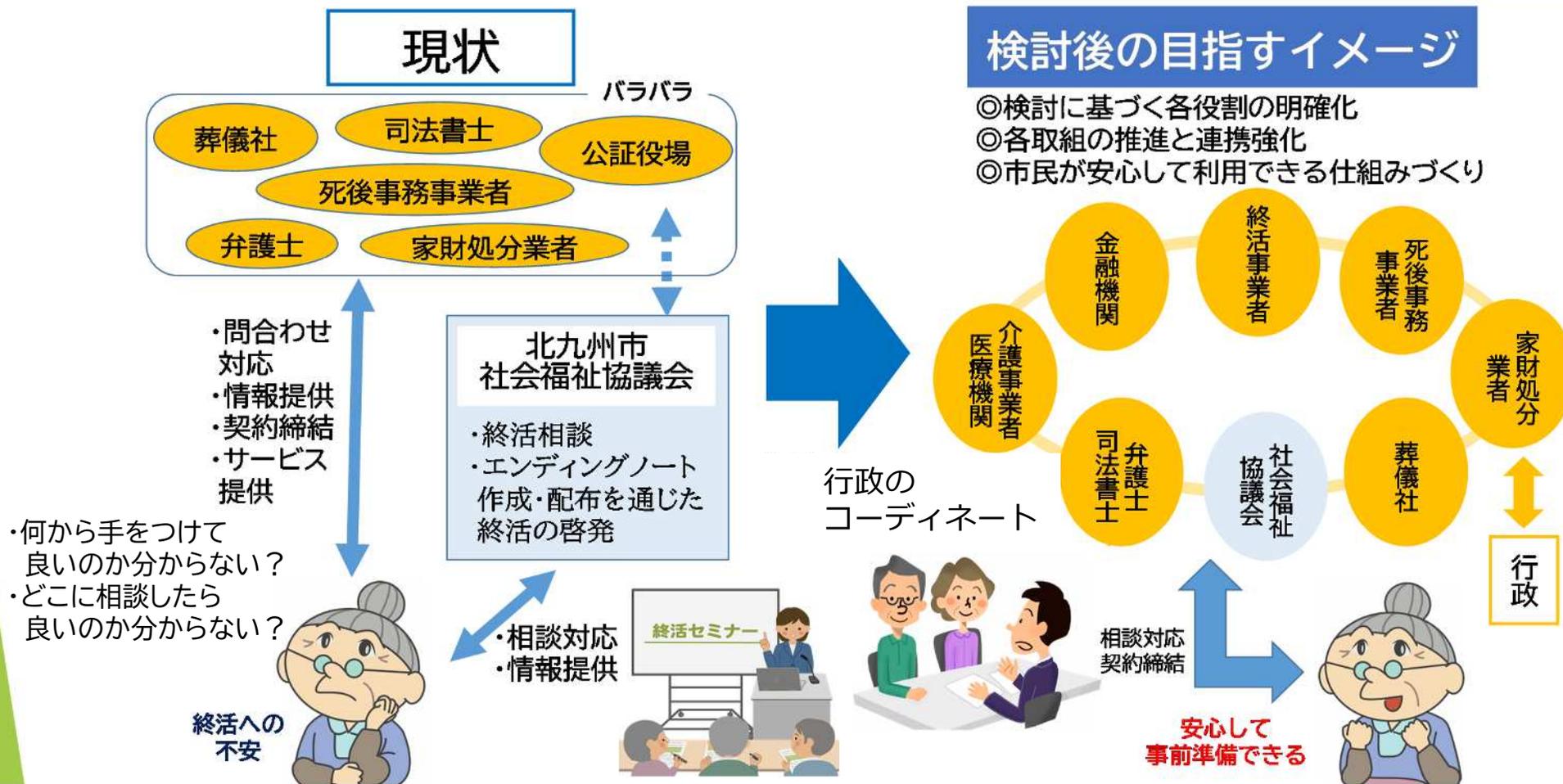
(3) 構成員からの主な意見

資料2 机上配布

終活支援の方向性

- 1 終活の周知・啓発
- 2 安心して相談できる窓口の設置
- 3 民間・行政の連携による支援

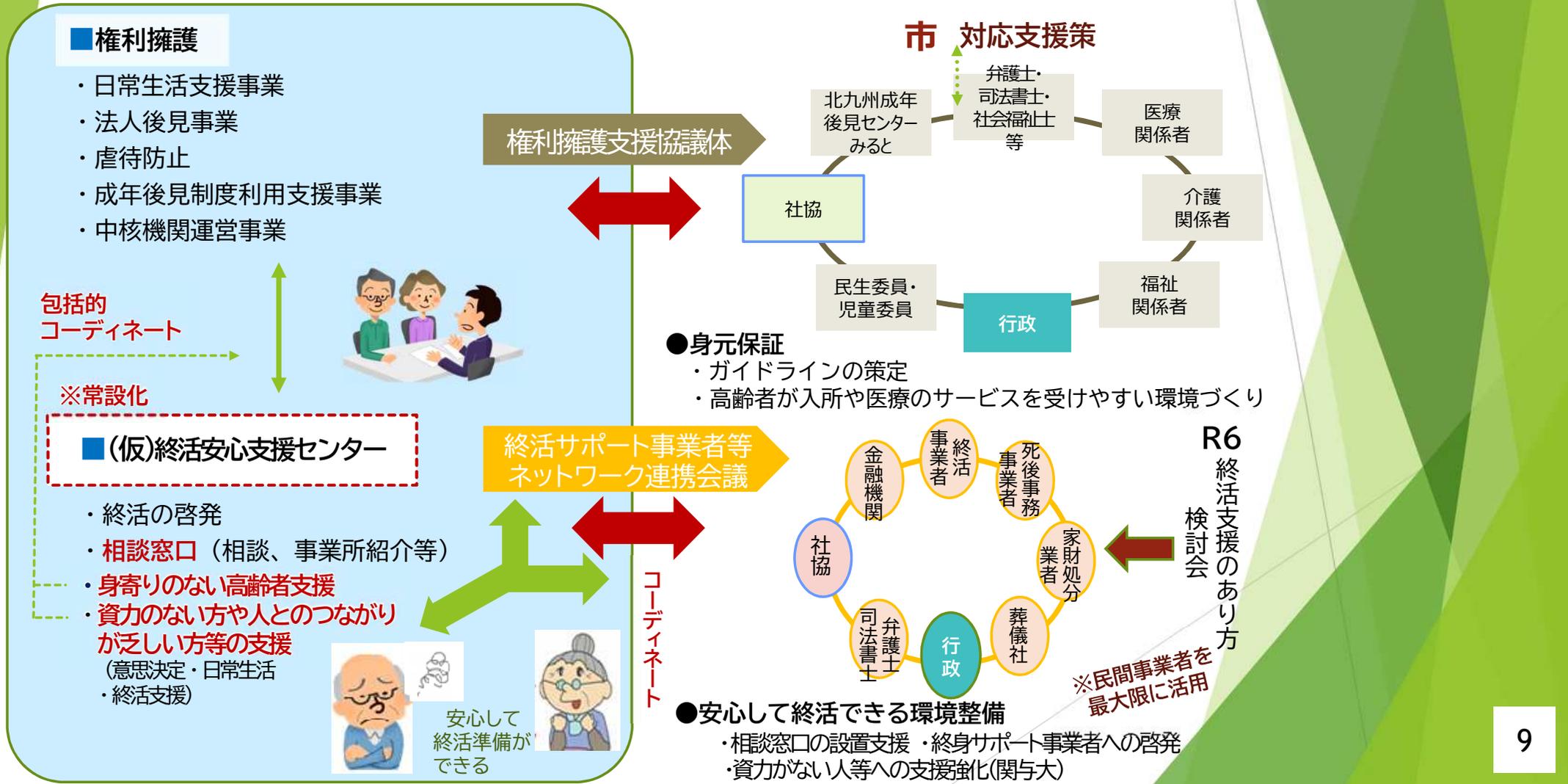
自己決定、選べる自由



終活支援の方向性

終活をはじめとした権利擁護の推進体制イメージ

- 3 民間・行政の連携による支援
- 4 身寄りのない方や資力のない方への支援



2 北九州市らしい終活支援

北九州市らしさを含めた、
安心できる自分らしい終活支援の仕組みとは？



多くの貴重なご意見
ありがとうございました。

ご意見をもとに、
市民の皆様が安心して、
終活できる仕組みづくりに
取り組んでまいります。